

第4回川島町災害情報伝達検討委員会次第

令和元年(2019年)10月29日

川島町役場 2階第2委員会室

1 開 会

2 あ い さ つ

3 議 事

(1) 会議の公開、会議録の記録方法及び会議録署名委員の指名について

(2) 災害情報伝達について

(3) その他

4 閉 会

川島町災害情報伝達検討委員名簿

no.	区分	所属	氏名	郵便番号	住所	備考
1	第3条2項1号 有識者及び学識経験者	城西大学 現代政策学部 社会経済システム学科 助教	飯塚 智規			
2		株式会社テレビ埼玉 営業局営業部 主任	木村 みちえ			
3	第3条2項2号 関係する地方公共団体の代表	埼玉県 危機管理部 消防防災課 主幹	関根 和則			
4	第3条2項3号 埼玉県警察の警察官	東松山警察署 警備係長	田中 顕浩			
5	第3条2項4号 川越地区消防組合の代表	川越地区消防組合 川島消防署 副署長	水村 一重			
6	第3条2項5号 川島町消防団長及び副団長	川島町消防団 団長	小川 敏晴			
7		川島町消防団 副団長	笹岡 稔			
8		川島町消防団 副団長	高野 裕幸			
9	第3条2項6号 各地区代表区長及び住民有識者	中山地区代表区長	利根川 洋治			
10		伊草地区代表区長	永田 久男			
11		三保谷地区代表区長	神山 文夫			
12		小見野地区代表区長	尾林 浩			
13		ハツ保地区代表区長	馬場 三郎			
14		出丸地区代表区長	宇津木 康明			
15	第3条2項7号 町職員	川島町 政策推進課 課長	藤間 隆			
16		川島町 総務課 課長	鈴木 克久			
17		川島町 健康福祉課 課長	内野 修一			
18		川島町 まち整備課 課長	石川 和貴			
19		川島町 上下水道課 課長	小久保 聡			
20		川島町 教育総務課 課長	石川 勉			

屋外拡声器・戸別受信機・エリアメール等比較表

項目		屋外拡声器	戸別受信機	エリアメール
伝達手段	主体	屋外拡声器 (65本)	戸別受信機 全世帯配布 (8,000世帯)	エリアメール (登録制メール)
	補助	エリアメール (登録制メール)	エリアメール (登録制メール)	戸別受信機 (1,000世帯) 高齢者世帯等希望者のみ
	多重化	ホームページ SNS テレビ埼玉	ホームページ SNS テレビ埼玉	ホームページ SNS テレビ埼玉
	主体	屋外	屋内	スマートフォン等所有者
	補助 (主な伝達手段)	屋内の人は、エリアメール (登録制メール)	屋外の人は、エリアメール (登録制メール)	スマートフォン等未所有者は戸別受信機
	高齢者	テレビ埼玉	戸別受信機	戸別受信機
聞え方	聴覚障がい	エリアメール (登録制メール)	戸別受信機 (ディスプレイ)	戸別受信機 (ディスプレイ)
	視覚障がい	ホームページ読上げ機能	戸別受信機	戸別受信機
	外国人	ホームページ外国語変換機能	ホームページ外国語変換機能	ホームページ外国語変換機能
	環境音、天候など	天候により聞こえない場合は、エリアメール (登録制メール)	—	—
	導入費用	約3億5,000万円	約3億円	約7,075万円
	運用費用 (年間)	約400万円	約600万円	約600万円
15年費用		約4億1,000万円	約3億9,000万円	約1億6,075万円
30年費用		約4億7,000万円	約4億8,000万円	約2億5,075万円

主な戸別受信機例

種類	概要
FM放送の自動起動ラジオ	FMラジオ局の電波を利用し、自動的に起動、該当FM局に合わせる機能が付いたラジオ
MCA陸上移動通信システムの屋内受信機	タクシーなどの業務で使用するMCA無線を利用し、専用の屋内受信機に配信する
市町村デジタル移動通信システムの屋内受信機	自治体が使っているデジタル移動通信システムを利用し、専用の屋内受信機に配信する。
280MHz帯電気通信業務用のページャー屋内受信機	ポケベルが使用していた周波数帯を利用し、専用の屋内受信機に配信する。
V-Lowマルチメディア放送の屋内受信機	アナログテレビが使用していた周波数帯を利用し、専用の屋内受信機に配信する。